

# 東京大学国語研究室蔵 黒川文庫目録〈語学之部〉たゝわ

林 淳子・靳 園元・北崎 勇帆  
南雲 千香子・田中 草大

玉あられ たまあられ 本居宣長

はじめに

刊一巻一冊 江戸後期 9-75 L66518

本稿は、当研究室所蔵黒川文庫（以下、「黒川文庫」）〈語学之部〉の目録である。本論集第一一号所収の「東京大学国語研究室蔵 黒川文庫目録〈語学之部〉あゝけ」、第一二号所収の「東京大学国語研究室蔵 黒川文庫目録〈語学之部〉こゝそ」に続き、書名（外題）の頭音が「た」〜「わ」であるものを採録する。

なお、黒川文庫の概要・目録の凡例については、本論集第六号所収の藤本灯・平井吾門・竹入優（二〇一〇）「東京大学国語研究室蔵 黒川文庫目録〈辞書之部〉あゝう」を参照されたい。

○寛政一一年（1799）刊、袋綴、青磁色布目地原表紙、楮

紙、25.8 × 18.1<sup>センチ</sup>、単辺、無界、五四丁、一頁一行、漢

・片・平、訓点付刻、書入（朱墨）、三井高蔭序・自序、跋

なし、少虫損、広告（本居先生著述書之内板行出来）、他三

冊と合帙、朱簽

〈印記〉頼、「頼」、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉（右・直・朱）本居宣長著／真頼書入本

〈外題〉『玉あられ』

〈内題〉・序…『玉籤』

・序・小口下・柱…『玉あられ』

〈刊記①〉寛政四年壬子春發行

勢州書林  
松坂日野町  
柏屋兵助

二条通柳馬場東入町  
林 伊兵衛

京都書林  
寺町通四条上<sup>ル</sup>町  
錢屋利兵衛

〈刊記②〉

寛政十一年巳未初秋  
勢州松坂日野町  
柏屋兵助

發行書林  
京都三条通富小路東<sup>へ</sup>入<sup>ル</sup>町  
錢屋利兵衛

玉あられ たまあられ 本居宣長

写一卷一冊 江戸後期 9-75 L66519

○天保五年(1834)写、袋綴、鳥の子色無地原表紙、楮紙、  
262 × 183<sup>サ</sup>、無辺、無界、三七丁、一頁一六行、漢・片  
・平・訓、書入(朱)、校合、三井高蔭序・自序、跋なし、  
少虫損、他三冊と合帙、切紙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「萩家もと」

〈表紙〉(右・直・墨)本居宣長著／書入本

〈外題〉『玉あられ』<sup>全</sup>

〈内題〉・序…『玉霰』『玉あられ』

〈奥書〉このふみハ八とせさきにかきうつしつるをかんなの

かきさま／もとつふみにたがひていとみだりなるを  
こたみあらためて／ふたゝびかきつくれとなほかん  
なのかずおほき事なれば／あやまりもあるべしそハ  
かたはらにかきくはへつへし／天保五年四月中旬再  
写

玉霰附論 たまあられふろん 村田春海

写一卷一冊 江戸後期 9-75 L66846

○江戸後期写、袋綴、水浅葱色布目地原表紙、楮紙、248  
× 171<sup>サ</sup>、無辺、無界、一六・五丁、一頁一二行、漢・  
平、寛政四年(1792)自序、跋なし、少虫損、三書合写(玉  
あられ論、弁玉霰論)、他三冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「荒井蔵書」

〔伊藤文庫〕

〈表紙〉(直・墨)内容書目／玉あられ論 優婆塞竺愷／玉

霰附論 淺草里人／辨玉霰論 三井高蔭

〈外題〉『弁玉霰論』(朱) 全本』<sup>全</sup>

〈内題〉・卷首…『玉霰附論』

・小口下…『玉霰論同弁』

〈奥書〉此二の書にいへることく本居のぬしハ古の学に／た  
けたる人なれとあまりにくはしきに過てなつ／める  
事も多かんめりはた文かき歌よむ事ハもと／より其  
得ざる所にてつたなき事いふはかりなし／そハ。か

の玉あられの序文かける三井某か言葉／作りのつた

なきをさる事と思ひて見過したる／にてもしられた

りこの文ともとみに燈の下にうつし／たれはいとみ

たりかはしくて人に見すへくも／あらずなん／寛政

四のとし神無月／寶田村のくすしいふ

玉霰窓廻小篠

たまあられまどのおざさ 中島広足

刊五卷五冊 明治期 949 L66789 ～ 66793

○明治二十一年(1888)刊、袋綴、淡香色花等紋(艶出)原表

紙、楮紙、24 × 151<sup>サ</sup>、双辺、無界、前編上四七・中四

○・下三八・後編上三四・下三四丁、一頁一三行、漢・片・

平、訓点付刻、舟図(墨印)、前編…嘉永七年(1855)自序

・後編…明治二〇年(1887)中島惟一序、跋なし、少破損

(表紙のみ)・少虫損・少水損

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(前編上冊、右・直・墨) 中島廣足著

〈外題〉『玉霰窓廻小篠前編上』

〈見返し〉中嶋廣足著／玉霰窓廻小篠(前編(・後編))／

版權所有中嶋氏蔵版

〈内題〉・見返し…『玉霰窓廻小篠』

・序(前編)…『窓の小篠』

・目錄・巻首・柱…『玉霰窓の小篠』

〔刊記〕明治二十年十月三日版權免許

明治廿二年二月十日出版落成

出版人 從六位 熊本縣士族

中 島 惟一

東京麴町區飯田町三丁目  
卅二番地寄留

印刷人 池 田 良 藏

東京神田區松富町十三番地

發賣人 吉 川 半 七

東京々橋區南傳馬町壹丁目  
十二番地

玉あられ論

たまあられろん 加藤千隆

写一卷一冊 江戸後期 975 L66846

○江戸後期写、袋綴、水浅葱色布目地原表紙、楮紙、248

× 171<sup>サ</sup>、無辺、無界、四・五丁、一頁一二行、漢・平、

序跋なし、少虫損、三書合写(玉霰附論・弁玉霰論)、他三

冊と合帙

〈印記〉頼、「頼」、道、帝図、「東大」、国語、「荒井蔵書」

〔伊藤文庫〕

〈表紙〉(直・墨) 内容書目／玉あられ論 優婆塞竺愷／玉

霰附論 淺草里人／辨玉霰論 三井高隆

〈外題〉『弁玉霰論(朱) 全本全』

〈内題〉・小口下…『玉霰論同弁』

〔奥書〕「玉霰附論」(L66846)に同

玉緒延約 たまのおえんやく

幻裡庵日善述 宇津忠重・渥美徳隣・御倉宜隆記

刊七卷三冊 江戸後期 9-50 L66794 ~ 66796

○江戸後期刊、袋綴、藍鼠色布目地原表紙、楮紙、25.6 ×

17.6<sup>㉜</sup>、無辺、無界、上四二・中六八・下五八丁、一頁一

行、漢・片・平、序跋なし、少虫損

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(上冊、右・直・朱) 幻裡庵口授

〈外題〉『玉緒延約』

〈内題〉・巻首: 『詞玉緒延約一之巻』

・小口下: 『玉緒延約』

・柱: 『延約』

玉能緒線分 たまのおくりわけ 東条義門

刊七卷五冊 江戸後期 9-51 L66750 ~ 66754

○嘉永四年(1851) 刊、袋綴、舛花色布目地原表紙、楮紙、

25.5 × 18.0<sup>㉜</sup>、単辺、無界、①三〇②五六③四〇④四二⑤

六二丁、一頁一〇行、漢・片・平、訓点付刻、書入(朱)、

天保六年(1835) 千種有功序、天保一二年加納諸平跋、少破

損・少虫損、広告(義門大徳著述目録)

〈印記〉頼、「頼」、道、帝図、「東大」、国語、「岡山文庫」

〈表紙〉①~⑤右・直・墨) 共五

(①右・直・朱) 義門著

(②右・直・墨) 玉緒/一ノ巻/二ノ巻

(③右・直・墨) 三ノ巻/四ノ巻

(④右・直・墨) 五ノ巻

(⑤右・直・墨) 六ノ巻/七ノ巻

〈外題〉『玉能緒線分序并目録』

〈見返し〉義門大徳著 全五冊/玉能緒線分/京攝三書房合梓

〈内題〉・見返し: 『玉能緒線分』

・目録・巻首・尾: 『玉緒線分』

・小口下: 『玉ノヲノクリワケ』

・柱: 『玉のをくり分』

〈刊記〉 京都 勝村治右衛門

大坂 河内屋儀 助

嘉永四年辛亥春 心齋橋筋本町角

同 河内屋藤兵衛

心齋橋博勢町角

同 河内屋茂兵衛

玉能緒末分揃 たまのおすえわけし 長野義言

刊三卷三冊 江戸後期 9-52 L66973 ~ 66975

○江戸後期刊、袋綴、瓶覗色無地原表紙、楮紙、25.4 ×

17.8<sup>㉜</sup>、単辺、無界、上六八・中六七・下六一丁、一頁一〇

行、漢・片・平、訓点付刻、三轉略圖(墨印)、書入(墨)、

みとりの屋序・天保一四年(1843) 自序、天保一五年

(1884) 堀内広城跋、少虫損、広告

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉(上冊、右・直・朱) 長野義言著／歌学

〈外題〉『玉能緒末分櫛 上』

〈内題〉・跋・柱…『末分櫛』

・目録・巻首・巻尾…『玉の緒末分櫛』

〈刊記〉桃廼舎蔵板

**玉乃緒変格辨** たまのおへんかくべん

三田葆光伝述・黒川真頼啓発

刊一卷一冊 明治期 9-73 L66577

○明治一六年(1883) 刊、袋綴、瓶覗色布目地原表紙、楮紙、25.8 × 18.1<sup>テ</sup>、単辺、無界、三〇丁、一頁一〇行、漢

・片・平、訓点付刻、図(墨印、係り結び図等)、明治一四年(1881) 黒川真頼序・明治一六年鈴木重嶺序、明治一四年

三田葆光跋・同年本居豊頼跋、少虫損、他人冊と合帙

〈印記〉道、前、帝図、〔東大〕、国語、〔黒川光長之印〕

〈表紙〉(右・直・墨) 明治十四年成

〈外題〉『玉乃緒変格辨 全』

〈内題〉・序…『玉乃緒変格辨』

・巻首…『玉の緒変格辨』

・小口下…『変格弁』

・柱…『變格辨』

〈刊記〉明治十六年十二月三日出版御届

静岡縣土族

著述并出版人

三田 葆光

東京下谷御徒町  
一丁目六十二番地

東京日本橋通四丁目  
金花堂

須原屋 佐太郎

賣弘書肆

同浅草茅町二丁目  
青藜閣

須原屋 伊八

**中学文典** ちゅうがくぶんてん 佐藤仁之助

刊三卷三冊 明治期 9-53 L67192 ~ 67194

○明治三三年(1900) 刊、袋綴、白鼠色布目地に未詳紋原表紙、楮紙、22.6 × 15.2<sup>テ</sup>、双辺、無界、上四二・中四五・

下五二丁、一頁一二行、漢・片・平、活用表、書入(朱墨)、明治三二年(1899) 自序・同年自序、跋なし

〈印記〉頼、道、東図、〔東大〕、国語

〈表紙〉(上冊、右・直・墨) 佐藤仁之助著

〈外題〉『中學文典 上』

〈見返し〉〔文學博士黒川真頼校閲／佐藤仁之助著〕／中學

文〔上編(・中編・下編)〕／東京 興文社蔵版

〈内題〉・見返し・序・目録・凡例・巻首・巻尾…『中學文

典』

・小口下…『中学文典』

〔刊記〕 明治三十三年二月五日印刷

明治三十三年二月十日發行

著者 佐藤仁之助

發行兼 鹿島長次郎

印刷者 同

印刷所 興文社工場

發行所 東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地  
興文社

關西賣捌所 大坂市東區南久寶寺町四丁目  
前川善兵衛

通略延約辨 つうりやくえんやくべん 野之口隆正

刊一卷一冊 江戸後期 9-74 L66576

○江戸後期刊、袋綴、白茶色布目に横刷毛目原表紙、楮紙、  
25.8 × 18.1 ㍉、単辺、無界、三二丁、一頁八行、漢・片・  
平、書入（朱）、自序、天保五年自跋、野之口隆正著述書  
目、他五冊と合帙

〔印記〕 頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〔表紙〕（右・直・墨）野之口隆正著

〔外題〕『通略延約辨全』

〔見返し〕 野之口隆正著／通略延約辨／この書は世の国学者

通略延約の四つをもてみだりに古言をとくことを

なげき沿革正訛をわかし普通同意といふことはた

えてなきことなるよしをあかし古人未発の合語の

格といふことを定め活語の新説をもしるせり

〔内題〕・見返し…『通略延約辨』

・序…『通略延約辨』

・巻首…『ことばのすみなは初集／通略延約辨』

・柱…『初集』

〔刊記〕 佐喜乃屋藏板

定家仮名遣 ていかかなづかい

藤原定家 源親行著・行阿補

刊一卷一冊 江戸初期 9-77 L67437

○江戸初期刊、袋綴、錆浅葱色布目地原表紙、楮紙、26.7  
× 19.2 ㍉、無辺、無界、五一丁、一頁一〇行、漢・片・  
平、訓点付刻、序、跋なし、少汚損・少虫損、他五冊と合帙  
〔印記〕 頼、道、帝図、〔東大〕、国語  
〔表紙〕（右・直・朱）一名行阿假名遣  
（左下・直・墨）寛

〔外題〕『定家仮名遣』

〔内題〕・序・目録…『假名文字遣』

〔巻尾〕 三条西殿前右大臣公條御奥書

写本云

此一冊小僧紹巴以数多之本考勘之而舛／謬猶有之先  
哲言校書如塵埃風葉隨／掃「手偏十道」有云々可俟  
後君子而已／天文廿一重陽前日記之 称名野釋御判

てにをは教科書 てにをはきようかしよ 物集高見

刊一卷一冊 明治期 9・87 L66563

○明治一九年(1886)刊、袋綴、紅緋色布目地原表紙、楮紙、22.1 × 14.5<sup>サ</sup>、双辺、無界、三二丁、一頁一〇行、漢・片・平、明治一八年(1885)自序、跋なし

〈印記〉道、帝図、「東大」、国語、「黒川真道」、「黒川福蔵」

〈外題〉『てにをは教科書物集高見著全』

〈見返し〉帝國文科大學教授物集高見先生著／てにをは教科

書 全／東京書肆 十一堂發行

〈内題〉・見返し・序・目錄・卷首・卷尾・柱：『てにをは教科書』

〈刊記〉明治十九年八月三十一日版權免許

同 十月 開版

大分縣土族

著者 物集高見

東京本郷區弓町二丁目廿八番地区

東京府土族

出版人 平尾諦藏

東京四谷區尾張町九番地

發兌 十一堂

明石範貞  
東京京橋區南鍋町二丁目三番地

書舖 中央堂 宮川保全

東京神田區猿樂町三丁目一番地

賣捌所 十一堂

菊本昇太郎

支店 東京日本橋區横山町二丁目十三番地

賣捌所

東京日本橋區上槇町八番地 吉田金造

大坂心齋橋通北久寶寺町 三木佐助

てにをは口伝 てにをはくでん

写一卷一冊 江戸後期 9・78 L66670

○江戸中後期写、袋綴、藍鼠色無地原表紙、楮紙、24.1 ×

16.1<sup>サ</sup>、無辺、無界、一八丁、一頁約一〇行、漢・平・書入

(朱)、序、跋なし、五書合綴(仮字考・仮名遣近道略歌・

姓卜戸ノ事・骨稽秘伝集)、他三冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語、「志村蔵書」

〈表紙〉(右・直・墨)百九十一

(右・簽・墨)仮字考／仮名遣近道略歌／姓卜戸ノ

事／てにをは口伝／骨稽秘伝集

〈外題〉『てにをは口傳 全』

〈内題〉・卷首：『てにをは口傳』

〈卷尾識語〉于時明曆二歳 一陽來復同

てにをは係辭辨 てにをはけいじべん 萩原広道

刊一卷一冊 江戸後期 9・73 L66630

○江戸後期刊、袋綴、舛花色布目地原表紙、楮紙、26.0 × 18.4<sup>セ</sup>、単辺、無界、三八丁、一頁一〇行、漢・片・平、書入（朱）、弘化三年（1846）西田直養序、福田貞涑跋、少虫損、広告（萩原葭沼先生著述脱稿之部目録）、他八冊と合帙  
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語  
〈表紙〉（右上・直・墨）萩原廣道著  
（右下・直・朱）卅九

〈外題〉『てにをは係辞辨』

〈内題〉・見返し…『てにをは』係辞辨』

- ・巻首…『互公乎波係辞辨』
- ・小口下…『てにをは係辞』
- ・柱…『係辞弁』

〈刊記〉

大坂心齋橋筋安堂寺町

發行書肆

秋田屋太右衛門

〈後見返し〉萩原先生著／『てにをは』係辞辨／出石居社

藏

てにをはしつのをたまき てにをはしつのおだまき 牛尾養庵

刊一卷一冊 江戸後期 9-73 L67101

○江戸後期刊、袋綴、鳩羽鼠色菊牡丹唐草紋（艶出）原表紙、楮紙、21.9 × 14.6<sup>セ</sup>、単辺、無界、五〇丁、一頁一〇行、漢・平、文政二年（1819）自序、跋なし、少虫損・少水損、他八冊と合帙

〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語、「土井」

〈表紙〉（右・直・朱）牛尾養庵著

〈外題〉『てにをはしつのをたまき』

〈内題〉・序・巻首・巻尾…『てにをはしつのをたまき』

・小口下…『しづのをだまき』

東語例

とうごい 物集高世

刊一卷一冊 明治期 9-79 L67321

○明治三十三年（1900）刊、袋綴、瓶覗色布目地原表紙、楮紙、22.5 × 14.9<sup>セ</sup>、双辺、無界、三八丁、一頁約一〇行、漢・片・平、明治三十三年物集高見序、跋なし、他四冊と合帙

〈印記〉道、東図、〔東大〕、国語

〈表紙〉（右・直・墨）物集高世著

〈外題〉『東語例 全』

〈内題〉・見返し・序・巻首・巻尾・柱…『東語例』

〈刊記〉明治三十三年七月十五日印刷  
明治三十三年七月二十日發行

著者 故人 物集高世

東京市本郷區東片町百拾六番地

原著者 物集高見

東京市神田區西小川町二丁目十一番地

相續人 渡邊兵吉

東京市神田區小川町一番地

印刷者 多田榮次



印刷所 東京市神田區小川町一番地  
愛善社

東京市神田區西小川町二丁目十一番地

發行所 六合館

日本文典初学 につぼんぶんでんういまなび 南部義壽

刊一卷一冊 明治期 9-81 L67097

○明治七年(1874)刊、洋装本、丁子茶色未詳紋原表紙、酸性紙、18.1 × 12.3<sup>センチ</sup>、無辺、無界、一七頁、一頁二〇行、漢・片・羅、序跋なし、他五冊と合帙、一丁表に書入(朱)「明治七年二月八日／南部ヨシカス著」

〈印記〉「頼」、道、前、帝図、「東大」、国語  
〈外題〉『日本文典初学』

〈内題〉扉…『A NIPPON BUNTEN UHI-MANABI NO MAKI.』

・巻首…『NIPPON BUNTEN UHI-MANABI.』

〈刊記①〉(巻首) MEIDI NANA TOSE, NIGWATU YOUKA

NAMBU UDI ZAUHAN.

〈刊記②〉(巻尾) 國文社印行

〔ビー・エッチ・チャンブレン氏〕日本小文典批評

にほんしやうぶんでんひひよう 谷千生

刊一卷一冊 明治期 9-81 L67105

○明治二〇年(1887)刊、洋装本、水浅葱色無地原表紙、酸性紙、19.0 × 13.0<sup>センチ</sup>、無辺、無界、一一二頁、一頁一〇行、漢・片・平・羅、自序、跋なし、広告(谷先生著書目録)、他五冊と合帙

〈印記〉頼、道、前、帝図、「東大」、国語

〈表紙・扉〉谷千生著述／「ビー、エッチ、／チャンブレン氏」日本小文典批評／明治廿年十一月刊行

〈外題〉『ビー、エッチ、チャンブレン氏 日本小文典批評』

〈内題〉扉・巻首…『ビー、エッチ、チャンブレン氏 日本小文典批評』

〈刊記〉明治二十年十一月十日出版御届  
全 年十一月 出版

著述人 徳島縣土族 谷千生  
東京京橋區南横町二番地  
寄留

岐阜縣平民

發賣兼出版人 山岸彌平

東京京橋區南横町二番地  
寄留

賣捌所 東京市神田區淡路町一丁目  
巖々堂

同 外神田五軒町十九番地  
好文館

同 日本橋區本石町一丁目  
常磐橋活版所

印刷

日本新字速記學秘訣 にほんしんじそっきがくひけつ 林甕臣

刊一卷二冊 明治期 9-54 L66570

○明治二十二年(1889)刊、仮綴、鳥の子色無地原表紙、酸性紙、12.9 × 18.0<sup>センチ</sup>、単辺、一部墨界、三四丁十六枚、一頁一二〜二二行、漢・片、図(墨印、母字畫起因原象圖等)、自序、跋なし

〈印記〉頼、道、前、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉(中・直・墨) 林甕臣著

〈外題〉『日本新字速記學秘訣』

〈扉〉林甕臣一大新發明／日本新字速記學秘訣／一名／日本

語法文字／言文一致速記學會／速記部／日本新字速

記専門學校刊行／國文館藏版

〈内題〉・扉：『日本新字速記學秘訣』一名／日本語法文

字』

・序(緒言)：『日本新字速記學秘訣』一名／日本

語法文字』

・目録：『日本新字速記法正編』

・巻尾：『日本新字速記學秘訣正編』

・柱：『日本新字速記學秘訣』

〈刊記〉

版權所有

明治二十二年十月廿五日印刷

同 二十二年十月廿六日出版

著者兼發行者 林甕臣

印刷者 江川雅次

發行所 國文館

東京神田區三崎町一丁目五番地

東京日本橋區長谷川町廿一番地

東京神田區三崎町一丁目五番地

〔小学科用〕日本文典 にほんぶんてん 春山弟彦

刊二卷二冊 明治期 9-55 L66807・66808

○明治一〇年(1877)刊、袋綴、舛花色配繋ぎ地(艶出)原表紙、楮紙、22.0 × 14.9<sup>センチ</sup>、単辺、無界、①五〇丁十一枚

②五八丁、一頁二行、漢・片・平、訓点付刻、図（墨印、五十音圖等）、序跋なし、表紙に目録（簽）

〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語、「黒川真道」

〈外題〉『小学日本文典春山弟彦著 卷之二』  
科用 卷之二上

〈内題〉・見返し・巻首・巻尾：『小学科用』日本文典』

・柱：『日本文典』

〈刊記〉明治十年二月十三日版權免許

兵庫縣土族

著者 春山弟彦

大阪府下茅壹大區・小區南新町  
壹丁目九番地

大阪府平民

出版人 淺井吉兵衛

茅壹大區七小區唐物町四丁目  
三拾四番地

日本文典問答 にほんぶんてんもんどう 飯田永夫

刊一卷一冊 明治期 9-82 L66676

○明治二四年（1891）刊、洋装本、白茶色無地原表紙、酸性紙、19.1 × 12.9 センチ、無辺、無界、一〇二頁＋附録表、一頁

二二行、漢・片・平、図（墨印）、動詞と助動詞との連合図等）、明治二四年自序、跋なし、少破損、広告（國語傳習所發行書・上原書店新刊書）、他七冊と合帙

〈印記〉頼、道、前、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉（直・墨）國語傳習所藏版／（朱）飯田永夫著／

（墨）日本文典問答 完／東京 上原書店發兌

〈外題〉『日本文典問答 完』

〈扉〉飯田永夫著／日本文典問答 完／東京 上原書店發兌

〈内題〉・扉・序・目録・巻首・巻尾・小口下・柱：『日本文典問答』

〈刊記〉明治廿四年十月十日印刷出版

著作兼

發行者

飯田永夫

東京府下本郷區田町三十三番地

發行兼

上原才一郎

印刷者

同神田區今川小路二丁目十七番地

發賣元

上原書店

同神田區今川小路二丁目十七番地

〔弘訓〕ねにくさくある考

ねにくさくさあるこう 足代弘訓

写一卷一冊 江戸後期 9-71 L67317

○江戸後期写、袋綴、赤白椴色無地原表紙、楮紙、26.4 × 18.1 センチ、無辺、無界、四丁、一頁九行、漢・平、序跋なし、一書合写（「重胤」助辞考）、他六冊と合帙

二書合写（「重胤」助辞考）、他六冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈外題〉『重胤助辞考弘訓ねにくさくある考』

〈内題〉・巻首：『ねにくさある事』

宣長直毘靈 のりながなおびのみたま 本居宣長

写一卷一冊 江戸後期 9-77 L67385

○江戸後期写、袋綴、薄柿色格子刷毛目原表紙、楮紙、26.4 × 18.8<sup>枚</sup>、無辺、無界、二五丁、一頁一〇行、漢・片・平・訓、書入(朱)、校合、序跋なし、少汚損・少虫損、二書合写(真淵語意)

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈外題〉『真淵語意／宣長直毘靈』

〈内題〉・巻首:『なほびの御たま』

〈識語〉玉しき平安宮に御宇す。檀原宮に御宇し

天皇よ。もゝちまりとをこゝのつぎにあたります  
天皇の。天下しろしめし始むる年の。かむな月こゝぬかの日。伊勢の国いひたかの／郡の御民平宣長。かしこみかしこみもしるし奉りつ。

俳諧天爾波抄

はいかいてにはしよう

富士谷御杖口授・浦井有國筆受

刊六卷二冊 江戸後期 9-56 L67267・67268

○文化四年(1807)刊、袋綴、錆浅葱色布目地原表紙、楮紙、22.4 × 15.8<sup>枚</sup>、単辺、無界、上一一〇・下九四丁、一頁一二行、漢・片・平、書入(朱墨)、文化三年(1806)皆川淇園序、跋なし、少虫損

〈印記〉頼、「頼」、道、帝図、「東大」、国語、「歌堂文庫」

〔伊藤藏書〕

〈表紙〉(上冊、右・直・朱) 富士谷御杖著

〈外題〉『俳諧天爾波抄 (墨 従(刷)一(墨)三)』

〈内題〉・序・凡例・②巻首・①巻尾・小口下:『俳諧天爾波抄』

・①巻首:『俳諧天爾波抄』

・③〜⑥巻首・②〜⑥巻尾:『俳諧天爾波抄』

〈刊記〉南基藏梓

文化四年丁卯仲冬

皇都

野田治兵衛

中川藤四郎

佐々木總四郎

葛西市郎兵衛

橘仙堂善兵衛

浪華

柳原喜兵衛

東武

野田七兵衛

発情一家言

はつじょういつかげん 中条信礼

刊一卷二冊 江戸後期 9-57 L67472・67473

○江戸後期刊、袋綴、鳩羽鼠色檀紙に卷雲・鳥紋(押型)原表紙、楮紙、23.3 × 16.3<sup>枚</sup>、無辺、無界、本文二六丁・附録九丁、一頁一〇行、漢・片・平、図表(墨印、皇大御國固有言靈聲母七十五音鑑)、序跋なし、少虫損、補修

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『發情一家言二編全』

〔見返し〕 豊蘆館學覺藏版／發情一家言／〔此書ハ古学家ニ條冷泉家其外世にありふれたる歌学ノ者たちの説と申しからざる紀傳学の一家の歌学に用あることノともをしるしたる書なり歌学に必心得へきこと編を追て嗣出す〕

〈内題〉・見返し・卷首：『發情一家言』

### 林永喜假字遣書

はやしえいきかなづかいしよ

写一卷一冊 江戸中期 9-77 L67438

○宝永四年(1707) 写、袋綴、海松色布目地原表紙、楮紙、27.5 × 18.8 枚、無辺、無界、四二丁、一頁一一行、漢・

平、序跋なし、少虫損、補修、他五冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『林永喜假字遣書』

〈内題〉・卷首：『假名書』

〈奥書〉 昔余遊<sub>ニ</sub>羽之最上山<sub>ニ</sub>有<sub>ニ</sub>山名綆短子<sub>ト云</sub>ノ者<sub>ニ</sub>一日

出<sub>ニ</sub>青縹<sub>ノ</sub>小冊<sub>ヲ</sub>而示<sub>レ</sub>余<sub>ニ</sub>曰<sub>レ</sub>此<sub>レ</sub>は林ノ永喜<sub>カ</sub>〔羅山子道ノ春之兄〕之所<sub>レ</sub>撰<sub>スル</sub>以<sub>テ</sub>献<sub>スル</sub>ノ東福門院<sub>ニ</sub>者也  
余一電覽<sub>後</sub>、後于<sub>レ</sub>今三十ノ有餘<sub>ノ</sub>年矣近歳小林文七自<sub>リ</sub>羽山<sub>ニ</sub>来<sub>テ</sub>過<sub>ニ</sub>余<sub>カ</sub>齋居<sub>ニ</sub>縦<sub>ニ</sub>言<sub>ノ</sub>偶<sub>々</sub>及<sub>ニ</sub>此<sub>ノ</sub>事<sub>ニ</sub>後、来<sub>ニ</sub>小林生手<sub>ノ</sub>寫<sub>ニ</sub>一帖<sub>ヲ</sub>以<sub>テ</sub>投<sub>テ</sub>余<sub>ニ</sub>于<sub>レ</sub>武城<sub>ノ</sub>之西ノ湖

塘<sub>ニ</sub>遂<sub>ニ</sub>珍<sub>・</sub>重<sub>ノ</sub>之<sub>ヲ</sub> 以<sub>テ</sub>備<sub>ニ</sub>于<sub>レ</sub>藏書<sub>ノ</sub>之數<sub>ニ</sub>云ノ宝永丁亥 河井徳久書

※朱引きは省略した。

### 紐鏡うつし辞

ひもかがみうつしことば 市岡猛彦

刊一卷一冊 江戸後期 9-80 L67145

○江戸後期刊、袋綴、錆浅葱色布目地原表紙、楮紙、16.0 × 10.5 枚、単辺、無界、一〇丁、一頁九行、漢・片・平、係結びの表、書入(朱)、自序、享保四年(1804) 自跋、少虫損、他三冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉(題簽右傍・直・朱)市岡猛彦著

〈外題〉『紐鏡うつし辞』

〈内題〉・卷首：『紐鏡うつし辞』

〈刊記〉榎園藏板

### 二葉抄 ふたばしよ 岡部春平

刊一卷一冊 江戸後期 9-88 L66559

○江戸後期刊、袋綴、鳥の子色無地原表紙、楮紙、23.5 × 16.4 枚、単辺、無界、十五・五丁(内やちまた捷徑七丁)、一頁一〇行、漢・平、訓点付刻、活用表、自序、跋なし、少虫損、二書合刻(やちまた捷徑)

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉(右・直・墨) 春平著／附 八衢捷徑

〈外題〉『二葉抄』

〈内題〉・巻首…『やちまた捷徑』

ふり分かみ 　　ふりわけがみ 　　小沢蘆庵

刊一卷一冊 江戸後期 9-72 L67309

○寛政八年(1796) 刊、袋綴、舛花色布目地原表紙、楮紙、  
264 × 181<sup>サ</sup>、単辺、無界、三六丁、一頁八行、漢・片・

平、訓点付刻、書入(朱)、序なし、自跋、他九冊と合帙

〈印記〉頼、「頼」、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(右・直・朱) 小澤芦庵著

〈外題〉『ふり分かみ 全』

〈内題〉・小口下…『ふりわけガミ』

〈刊記〉寛政八年丙辰三月

京都二條通富小路東へ入町

吉田四郎右衛門

〈巻尾〉(刷) 丙巻元文正辰春洛東圖南亭ニ／筆をとる芦庵

〔クアケンホス ビネヲ〕**文典字類** ぶんでんじるい、ピネオ

刊二卷二冊 明治期 9-58 L67510・67511

○明治期刊、袋綴、臙脂色布目に網目紋(艶出) 原表紙、楮紙、184 × 121<sup>サ</sup>、単辺、墨界、上六五・下六五丁、一頁

一二行、漢・片・羅、明治五年(1872) 市川央坡序、跋なし、広告

〈印記〉「頼」、道、帝図、東図、「東大」、国語

〈外題〉『クアケンホス／ビネヲ』**文典字類 上**』

〈見返し〉英文典字類

〈内題〉・見返し…『英文典字類』

・序…『二家文典字類』

・柱①…『文典字類クアケンケンホス氏 ビネヲ氏』

・柱②…『文典字類クアケンケンホス氏 ビネヲ氏』

〈刊記〉

東京 江 嶋喜兵衛板  
本石町二丁目角

書林 沼津 本屋平 八

静岡 市ヶ谷善 蔵

名古屋 鬼頭平兵衛

大坂 前川善兵衛

西京 村上勘兵衛

發行

**文範** ぶんはん 堀秀成

写一卷一冊 明治期 9-79 L66526

○明治四年(1871) 写、袋綴、縹色布目に小葵紋(艶出) 原表紙、楮紙、244 × 167<sup>サ</sup>、無辺、無界、一一丁、一頁八行、漢・平、図(朱墨)、序跋なし、綴紐はずれ、広告(文格類著目)、他四冊と合帙

〔印記〕頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『文範堀秀成著全』

〔原扉〕文範

〔内題〕・巻首・柱…『文範』

〔本奥書〕明治二年己巳七月廿四日改正〔干時年五ノ十有一

歳〕

〔書写奥書〕明治四年歳次辛未夏五月十五日

神祇官於長屋源朝臣細矢庸雄寫

〔初学速成〕文法口授 ぶんぼうこうじゅ

小中村清矩評閲・鈴木弘恭口授

刊一卷一冊 明治期 9.83 L66919

○明治一六年 (1883) 刊、袋綴、鳥の子色卍繫ぎ地 (艶出)

原表紙、楮紙、227 × 151<sup>サ</sup>、双辺、無界、二五丁、一頁

一一行、漢・片・平、明治一五年 (1882) 鈴木弘恭序、同年

鈴木弘恭跋、広告、他三冊と合帙

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『<sup>初学</sup>文法口授<sup>小中村清矩評閲</sup>全』

〔見返し〕『小中村清矩評閲／鈴木弘恭口述』／〔初学／速

成〕文法口授／〔明治十六年五月印行〕

〔内題〕・見返し・巻首…『<sup>初学</sup>文法口授<sup>速成</sup>』

・小口下…『文法口授』

〔刊記〕明治十六年五月十六日出版御届

著者

東京府土族 鈴木弘恭  
小石川區竹早町  
十三番地寄留

出版人

東京府平民 城慶度  
京橋區南鍋町壹丁目  
八番地

發兌

東京々橋區南鍋町壹丁目八番地  
青木活版所

賣捌書肆

東京通三丁目  
丸屋善七

同 通一丁目  
須原茂兵衛

文宛堂

同 本郷元町貳丁目  
藤田榮次郎

弁玉あられ論 べんたまあられろん 三井高蔭

刊一卷一冊 江戸後期 9.75 L66520

○文化一三年 (1816) 刊、袋綴、水浅葱色布目地原表紙、楮

紙、26.1 × 18.2<sup>サ</sup>、单辺、無界、三二丁、一頁一〇行、漢

・片・平、序跋なし、補修、広告 (鈴屋門人尾張社中著述目

録)、他三冊と合帙

〔印記〕頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〔表紙〕(右・直・墨) 三井高蔭著

〈直・墨・中央〉 内容書目

玉あられ論 優婆塞天愷

玉霰附論 淺草里人

辨玉霰論 三井高蔭

〈外題〉『弁玉あられ論(朱)一論』

〈内題〉・卷首:『辨玉霰二論』

・小口下:『弁玉アラレ』

・柱:『弁玉あられ二論』

〈刊記〉文化十三年子秋

松下園藏板

製本所 尾張名古屋本町十丁目  
松屋善兵衛

**弁玉霰論** べんたまあられろん 三井高蔭

写一卷一冊 江戸後期 9-75 L66346

○江戸後期写、袋綴、水浅葱色布目地原表紙、楮紙、248

× 17.1 寸、無辺、無界、一五丁、一頁一二行、漢・片・

平、書入(朱)、序跋なし、少虫損、三書合写(玉あられ論

・玉霰附論)、他三冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語、「荒井藏書」

〔伊藤文庫〕

〈表紙〉(直・墨) 内容書目／玉あられ論 優婆塞天愷／玉

霰附論 淺草里人／辨玉霰論 三井高蔭

〈外題〉『弁玉霰論(朱)全本(墨)全』

〈内題〉・卷首:『辨玉霰論』

・小口下:『玉霰論同弁』

**真洌語意** まぶちい 賀茂真淵

写一卷一冊 江戸後期 9-77 L67385

○江戸後期写、袋綴、薄柿色格子刷毛目原表紙、楮紙、264

× 18.8 寸、無辺、無界、一三丁、一頁一二行、漢・片・

平、図(五十連音等)、序跋なし、少汚損・少虫損、二書合

写(宣長直毘靈)、他五冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈外題〉『真洌語意／宣長直毘靈』

〈内題〉・卷首:『語意』

**万葉仮名遣** まんようかなづかい 青木鷺水

刊一卷一冊 江戸中期 9-60 L66660

○元禄十一年(1698)刊、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、

15.6 × 10.8 寸、単辺、無界、一六九丁、一頁八行、漢・片

・平、訓点付刻、五十音図、書入(墨)、序なし、元禄一

年自跋・片山助叟跋、少破損・少汚損・少疲労・少虫損

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語、他一種

〈表紙〉(右・直・墨) 青木鷺水著

〈外題〉『萬葉假名遣 全』



〈内題〉・目録・巻首・小口下…『萬葉假名遣』

・柱…『萬葉假名遣』『萬葉假名』

〈刊記〉 嘗元祿十一辰宿戊寅

五月念五

寺町二条上<sup>ル</sup>町

井筒屋庄兵衛

寺町五条上<sup>ル</sup>町

山岡市兵衛

### 皇國辭解

みくにごとばかい 大村光枝

写二卷二冊 江戸後期 9-14 L67470・67471

○文化一一年(1814)写、袋綴、水色地に柳煤竹色格子縞紋  
原表紙、楮紙、27.3 × 20.1<sup>センチ</sup>、単辺、無界、上五〇・下四  
九丁、一頁一一行、漢・平・訓、校合、にしなの山賤序、寛  
政四年跋、少汚損・少虫損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「賢木園記」

〈表紙〉(上冊、右・直・朱)内藤廣前本

(上冊、右・直・墨)大村光枝著

〈外題〉『皇國辭解 上』

〈内題〉・目録…『皇國辭解』

〈奥書〉右皇國辭解二卷は長野美波留藏本をもて

うつしおきぬ

文化十一年冬十月

藤原美足

### 皇國之言靈

みくにごのこただま 林国雄

刊一卷一冊 江戸後期 9-71 L66779

○江戸後期刊、袋綴、瓶覗色布目地原表紙、楮紙、26.1 ×  
18.1<sup>センチ</sup>、単辺、無界、四七丁、一頁一〇行、漢・片・平・  
梵、訓点付刻、図(墨印、皇國之言靈五十聯音之圖等)、千  
家俊信序・文政一二年(1829)藤原さた直序・文政一〇年  
(1827)自序、吾孀居のあるし国かせ跋、少虫損、広告(常  
葉居先生著述目録)、他六冊と合帙、朱簽

〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉(右・直・朱)源罔雄著

〈外題〉『皇國之言靈 全』

〈内題〉・序①・小口下…『皇國言靈』

・序③・目録・巻首…『皇國之言靈』

・柱…『皇國之言靈』

〈刊記〉路岐居藏版

〈巻尾〉文政八とせといふ年のくれに書をへぬ

やちまた捷徑 やちまたしようけい

↓ 二葉抄 ふたばしよう

〔活語〕山口栞 やまぐちのしおり 東条義門

刊三卷三冊 江戸後期 9-64 L66770 ~ 66772

○天保七年(1836)刊、袋綴、鍔浅葱色布目地原表紙、楮

紙、25.6 × 17.8<sup>センチ</sup>、単辺、無界、上六八・中四五・下四九  
丁、一頁一〇行、漢・片・平、訓点付刻、艸言・用言の表、  
書入（朱墨橙）、校合、文政三年（1820）藤井高尚序、天保  
四年（1833）自跋、少虫損、広告

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、「東大」、国語、「寺山家藏」

〈表紙〉（上冊、右・直・朱）小林元雄書入本

〈外題〉『<sup>活</sup>山口朶 上』

〈見返し〉義門江戸にありしは廿とせはかりのむかしなりき  
其比わか方にも折々きて／てにをは語格の事な  
ととかくいひたれと素よりさえなきみなかうとに  
て／いはゆる孤陋寡聞對話のあひた厭はしき事の  
み多かりき歌かきて見せよと／てかゝせたれは湯  
王を題にてふきくるをこのもかのもに待そをる  
花のかさそふ／山の嵐は とかきて出しつ其後海  
野遊翁に此歌をみせて大にわらひたりし其／ゆゑ  
はこは湯王の徳を花の香をさそふあらしに比して  
よめるなるへけれと末句はもし／強く力入たれ  
嵐の外に何か吹くるものあるを花の香をさそふ嵐  
か待をる意と／なりて更によみ人のおもふかこと  
は聞えぬ歌となる也たゝ一首の歌たによくはよみ  
／かたくとも一わたりきこゆはかりはかたき事に  
もあらさめるをたま／人に見すとてかける／歌  
すらかる口つきなるにて其さえなき事もしらるさ

れはこそ此書いふ事にハ／よき事もあれと詞のつ  
ゝけやう前後の照應大方よくもあらすことにわら  
ふへ／きは語格の事をもはらいひなからおのれか  
かける文に其例格をあやまて／る處々かそへもあ  
へす多きはいかにそや後見ん人語格を論したる書  
／なればこゝにいふことはたかひあらしとおもふ  
ことなかれ

〈内題〉・序・小口下：『山口のしをり』

・目録・巻首・巻尾・柱：『山口朶』

〈刊記①〉天保七年<sup>甲丙</sup>五月刊成

〈刊記②〉

寺町通蛸薬師下ル町

恵比須屋市右衛門

烏丸通魚棚下ル町

菊屋治兵衛

製本所

室町通三條下ル町

千切屋庄三郎

〈識語〉

（下巻尾・墨）此書かうまで正し／いふにもおよは  
されと／秋のなかな夜のつれ／なるま／に見も  
て／ゆくついでにいかにそやおもはるゝ處々心な  
くさ（み脱敷）にかいつけたる也後見ん人かはか  
りのものに心を入れてかへさひよみ／たるやなとい  
ふかしみおもふことなかれ／天保七年三月念四  
雪衣居士

〔活語〕山口栞 やまぐちのしおり 東条義門

刊三卷三冊 江戸後期 9-65 L66830 ~ 66832

○天保七年(1836)刊、袋綴、錆浅葱色布目地原表紙、楮紙、25.6 × 17.8<sup>ㄱ</sup>、単辺、無界、上六八・中四四・下四九丁、一頁一〇行、漢・片・平、訓点付刻、艸言・用言の表、

書入(朱墨)、文政三年(1820)藤井高尚序、天保四年(1833)自跋、少虫損、広告、切紙、朱簽

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、他一種

〔表紙〕(上冊、右・直・朱)義門著

〔外題〕『<sup>活語</sup>山口栞 上』

〔見返し〕前項『活語』山口栞 [L66770 ~ 66772] に同く

〔内題〕・序…『山口のしをり』

・目録・巻首・巻尾・小口下・柱…『山口栞』

〔刊記〕前項『活語』山口栞 (L66770 ~ 66772) に同く

拗音開合図 ようおんかいごうず

写一卷一冊 明治期 9-79 L67455

○明治期写、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、24.3 × 16.7<sup>ㄱ</sup>、無辺、無界、一六丁、一頁一一行、漢・片・平、図(発音表・ヲクト点図)、序跋なし、少虫損、二書合写(語学音学考證)、他四冊と合帙

〔印記〕頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〔表紙〕(右・直・墨)石橋真國著

〔外題〕『<sup>語学</sup>音学考證(朱)石橋真國編』

〔内題〕・扉…『拗音開合圖』

洋学指針〔英学部〕 ようがくしん 柳河春三

刊一卷一冊 江戸後期 9-84 L66830

○慶応三年(1867)刊、袋綴、紺色布目に網目紋原表紙、楮紙、18.1 × 12.2<sup>ㄱ</sup>、単辺、一部墨界、二四丁、一頁約九〇行、漢・片・羅、訓点付刻、アルファベット表、書入(朱)、慶応三年篠崎隆由序、跋なし、広告(柳河先生著述目録)、他九冊と合帙

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『洋学指針 英学部 全』

〔見返し〕慶應三年開版／洋学指針〔英学部〕／柳河氏

鶏鶴樓藏

〔内題〕・見返し…『洋学指針〔英学部〕』

・巻首・巻尾…『洋学指針 英学部』

・柱…『英学部』

〔刊記〕江戸 柳河春三著

慶應三年丁卯刻成

英学部二編嗣出

敬兌 中橋東中通下榎町

大和屋喜兵衛

洋学指針〔英學部二編〕 ようがくしん 柴田清瀬

刊一卷一冊 明治期 984 L6880

一・二行、漢・片、訓点付刻、明治四年(1871)自序、明治五年阪谷朗廬跋、広告、他五冊と合帙

○明治四年(1871)刊、袋綴、黄蘗色口繫ぎ地(艶出) 原表紙、楮紙、18.6 × 12.0<sup>セ</sup>、単辺、無界、五八丁、一頁九行、漢・片・羅、書入(朱)、明治四年自序、跋なし、他九冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『洋学指針二編 全』

〈見返し〉明治四年開版／洋学指針<sup>英學部</sup>／柴田氏藏

〈内題〉・見返し…『洋学指針〔英學部／二編〕』

・巻首…『洋学指針二編 英學部』

・巻尾…『洋学指針一篇』

・柱…『英學部』

〈刊記〉官許

明治四辛未年十二月

柴田清瀬撰同蔵

中橋東中通下榎町

東京書林 大和屋喜兵衛發兌

洋語音訳筌 ようごおんやくせん 村田文夫

刊一卷一冊 明治期 981 L(なし)

○明治五年(1872)刊、袋綴、藍墨茶色布目に綱目(艶出)

原表紙、楮紙、12.4 × 18.0<sup>セ</sup>、単辺、墨界、七三丁、一頁

館／文／大正十三年登記

〈外題〉『洋語音譯筌 全』

〈見返し〉〔村田文夫編纂〕／洋語音／譯筌／〔天民館蔵〕

〈内題〉・見返し・背…『洋語音譯筌』

・跋・目錄・凡例・巻首・巻尾・附録・柱…『音譯筌』

〈刊記〉明治五年壬申歳二月新雕

村田文夫編纂

京都寺町通松原下ル

勝村治右衛門

大坂心齋橋北久太郎町

河内屋喜兵衛

大坂心齋橋通唐物町

河内屋吉兵衛

東京芝神明前

岡田屋嘉七

同小石川傳通院前白壁町

鷹金屋清吉

同日本橋通二丁目

須原屋新兵衛

同所 山城屋佐兵衛

洋語音訳筈 ようごおんやくせん 村田文夫

刊一卷一冊 明治期 9-84 L66864

○明治五年(1872)刊、袋綴、藍鼠色布目に網目(艶出)原表紙、楮紙、12.5 × 18.0<sup>サ</sup>、単辺、墨界、七三丁、一頁一二行、漢・片、明治四年(1871)自序、明治五年阪谷朗廬跋、少虫損、広告、他九冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、「東大」、国語

〈外題〉『洋語音譯筈』(朱)地名、人名／雑称』

〈見返し〉「村田文夫編纂」／洋語音／譯筈／「天民館蔵」

〈内題〉・見返し・背題：『洋語音譯筈』

・跋・目録・凡例・巻首・巻尾・附録・柱：『音譯

筈』

〈刊記〉前項「洋語音訳筈」(上なし)に同じ

用語類纂

ようごるいさん 石橋真国

写八巻八冊 江戸後期 9-66 L66720～66727

○江戸後期写、仮綴、白色地に薄柿の格子刷毛目原表紙、楮紙(第四冊後半以降原稿用紙)、23.8 × 16.7<sup>サ</sup>、無辺、無界、①八四②三三③六七④六九⑤七六⑥五二⑦七五⑧六七丁、一頁一〇～一二行、漢・片・平・訓、図(活用図等)、書入(朱、序跋なし、少汚損・少虫損

〈印記〉頼、「頼」、道、帝図、「東大」、国語

〈表紙〉(①右・直・墨)石橋真國稿本 共八冊／あいうえお

②③右・直・墨)か

④右・直・墨)きくけこ／さ

⑤右・直・墨)しすせそ

⑥右・直・墨)たちつてと／なにぬねの

⑦右・直・墨)はひ

⑧右・直・墨)ふへほ／まみむめも／やいゆ延よ

／らりるれろ／わるるゑを

〈外題〉『用語類纂 一』

〈内題〉・扉：『用語類纂』

横文字独学

よこもじひとりまなび 青木輔清

刊二卷三冊 明治期 9-67 L66991～66993

○明治期刊、袋綴、紺色布目に網目(艶出)原表紙、楮紙、18.2 × 12.1<sup>サ</sup>、双辺、一部墨界、①一六・②二四・③二五丁、漢・片・平・羅、図(墨印、五十韻の表等)、書入(朱墨)、明治四年(1871)自序(初編)・同年自序(二編)、跋なし、少虫損、広告

〈印記〉「頼」、道、帝図、「東大」、国語、他一種

〈外題〉『横文字獨學 英字部初編』

〈見返し〉(初編) 英學之部 初編／横文字獨學／「官許」

忍藩洋學校蔵

(二編) 青木輔清 著／横文字獨學(二編)／中

外堂發兌

〈内題〉・見返し・巻首・巻尾…『横文字獨學』

・②序…『横文字獨学』

・柱…『獨學』

〈刊記〉 東京室町三丁目

發兌 紀伊國屋源兵衛

### 蘭学階梯

らんがくかいてい 大槻玄澤

刊二卷一冊 江戸後期 9-74 L66569

○江戸後期刊、袋綴、小豆色菊唐草紋(艶出)原表紙、楮紙、213 × 151<sup>サ</sup>、単辺、無界、六二丁、一頁九行、漢・片・羅、訓点付刻、音節表、書入(朱)、天明三年(1783)龍橋源昌綱序・同年孔平信敏序、同年津山侍鑿字督跋・同年自跋、補修、他五冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、〔守中〕、〔青藜閣記〕、他一種

〈表紙〉(右・直・墨)大槻玄澤著

〈外題〉『蘭学階梯 乾坤』

〈見返し〉仙臺大槻先生著／蘭学階梯／此書ハ玄澤大槻先生撰する所にして初卷ハ崑陽青木先生以来蘭學の来由を詳にし且専ら崎陽の譯司諸輩に傳ふる所に因りて／其學ひかたを次の卷に明にす是其社中蒙生に授くるものなり世の興學に志し有人の為に木によせて是を世口弘むと云／天明八戊申年暮春 羣

玉堂誌

〈内題〉・見返し・序・跋・目錄・巻首・巻尾・柱…『蘭学階梯』

・小口下…『蘭階』

・小口下…『蘭階』

### 葎園抄

りつえんしょう 河辺一也

写二卷二冊 江戸後期 9-61 L67475・67474

○江戸後期写、袋綴、白練色無地原表紙、楮紙、242 × 169<sup>サ</sup>、無辺、無界、①一六②二六丁、一頁一〇行、漢・平、序なし、自跋、少虫損

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、〔山吹園社中共有之印〕

〈表紙〉(①②右・直・墨)河邊一也著

〈外題〉『葎園抄〔多底流之部／多藝知之部〕』

### 類聚和歌互爾乎波

るいじゅわかにをは 修竹庵堯民

写一卷一冊 江戸中期 9-62 L63317

○江戸中期写、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、247 × 172<sup>サ</sup>、無辺、無界、五八丁、一頁八〇九行、漢・平、書入(朱墨)、自序、跋なし、少破損・少虫損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、〔柴氏藏書〕

〈表紙〉(右・直・墨)修竹庵堯民著

〈外題〉『類聚和歌三ふ乎波』

靈語通 れいごつう 上田秋成

刊一卷一冊 江戸後期 9-77 L67308

○寛政九年(1797)刊、袋綴、湊鼠色無地原表紙、楮紙、  
26.7×18.7<sup>ㄱ</sup>、単辺、無界、三六丁、一頁一二行、漢・片  
・平、訓点付刻、書入(朱)、寛政七年(1795)越魚臣等  
序、自跋、少虫損、他五冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉(右・直・朱) 上田秋成著

〈外題〉『靈語通 全』

〈内題〉・巻首…『靈語通』

・小口下…『靈語通』

〈刊記〉寛政八辰秋七月朔日御免

寛政九巳春二月吉辰新刊

東都 書林 須原屋茂兵衛

浪華 書林 鹽屋 喜助

帝都 書林 著屋 儀兵衛 梓

靈語通 硯 ㄱ れいごつうへんしん 岡本保孝

写一卷一冊 明治期 9-73 L68354

○明治期写、袋綴、淡香色無地原表紙、楮紙、24.3×16.5<sup>ㄱ</sup>、  
無辺、無界、一二丁、一頁一〇行、漢・片・平・訓、書

入(朱)、校合、明治六年(1875)自序、自跋・跋、他八冊  
と合帙

〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『靈語通 硯 岡本保孝全』

〈内題〉・扉・小口下…『靈語通 硯』

靈語天格 れいごてんかく 伊庭秀賢

写四卷四冊 江戸後期 9-63 L66930～66933

○江戸後期写、袋綴、朽葉色無地原表紙、楮紙、23.6×  
16.3<sup>ㄱ</sup>、無辺、無界、①三〇②三九③四〇④二〇丁、一頁九  
行、漢・片・平・訓、韻図、書入(朱墨)、序跋なし、少虫  
損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「糟谷文庫」

〈表紙〉(①右・直・墨) 伊庭秀賢著

〈外題〉『靈語天格 一』

〈内題〉・目錄・巻首・①～③巻尾…『灵語天格』

羅馬字意見 ろーまじいけん 田中館愛橘

刊一卷一冊 明治期 9-81 L67004

○明治一八年(1885)刊、袋綴、白茶色無地原表紙、酸性  
紙、19.4×13.2<sup>ㄱ</sup>、双辺、無界、二七頁、一頁一三行、漢  
・片・平・羅、書入(朱墨)、序跋なし、少虫損、他五冊と  
合帙

〔印記〕〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〔外題〕『羅馬字意見』

〔内題〕・扉・巻首…『羅馬字意見』

心齋橋筋北久太郎町

河内屋喜兵衛

追手筋錦町

小川屋六 藏

### 和歌虚詞考

わかきよしこう 加藤景範

刊二卷二冊 江戸後期 9-68 L67119・67120

○寛政元年(1789)刊、袋綴、鳥の子色薄紋原表紙、楮紙、  
22.7 × 15.6 ㍉、単辺、無界、上三二・下三八丁、一頁九  
行、漢・片・平、書入(朱)、自序、寛政元年有賀長収跋、  
少汚損・少虫損

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、他二種

〔表紙〕(上冊、右上・直・墨) 加藤景範著竹里

(上下冊、右下・直・墨) 廿三

〔外題〕『和歌虚詞考 上』

〔内題〕・巻首・小口下…『虚詞考』

・柱…『虚詞考』

〔刊記〕寛政元年己酉孟春發行

心齋橋筋順慶町

柏原屋清右衛門

本町二丁目

奈良屋長兵衛

北久太郎町四丁目

浪華書舗

依 屋太郎吉

心齋橋筋南久太郎町

柏原屋佐兵衛

### 和語説

わ(せ)つ 東条義門述 慧教・説言筆記

写五卷三冊 江戸後期 9-69 L67408 ~ 67410

○江戸後期写、袋綴、舛花色亀甲繫ぎ紋(艶出)原表紙、楮  
紙、23.2 × 15.4 ㍉、無辺、無界、①八五②七六③六七丁、  
一頁一〇〜一四行、漢・片・平・訓、書入(朱墨)、自序、  
跋なし、少虫損、朱簽

〔印記〕頼、〔頼〕、道、帝図、国語

〔表紙〕(①右・直・朱) 義門述

〔外題〕『和語説』

〔内題〕・①巻首…『眞宗聖教和語説』

・②③④巻尾・小口下…『和語説』

・③巻首…『眞宗聖教和語説』

・②④巻首…『眞宗聖教和語説』

〔付記〕①巻尾 以上二ノ巻ヨリノ抄録ノナリ

〔付記〕

本稿を以て〈語学之部〉の書誌調査結果の公表は完了する。  
前号にて〈辞書之部〉が完了したことと併せて、これにより  
当研究室が蔵する「黒川文庫」の文献全体の調査について一



且の完了を得たことになる。我々自身、この調査に取り組む中で知識を得ていったところも少なからずあり、今の目から見ると既発表の部分に修正を要すと感じられる点もあるというのが正直なところである。これらについては全体的な見直しを図って再公表するということも検討中である。ともあれ、当研究室が蔵する「黒川文庫」諸資料の書誌的概要を調査・公開してきた本事業が、国語学史を中心とする諸研究の一層の発展に寄与するところがあるとせば、調査者一同にとつて望外の喜びである。

(田中)

- (はやし じゅんこ 大学院人文社会系研究科博士課程三年)  
(きん えんげん 大学院人文社会系研究科博士課程三年)  
(きたざき ゆうほ 大学院人文社会系研究科博士課程一年)  
(なぐも ちかこ 大学院人文社会系研究科博士課程三年)  
(たなか そうた 大学院人文社会系研究科助教)